



法学部独自の奨学金制度
「やる気応援奨学金」を利用した
学生の体験をご紹介します

多文化交流の機会

私は環境問題について学ぶため、2020年2月から1カ月間、環境先進国と言われるドイツに留学しました。ドイツでは英語が通じるため多少の安心感はありましたが、語学学校ではウクライナ、中国、南アフリカ、メキシコ、ブラジル、ヨルダンなど、英語が母語ではない学生が多いので、必然的にドイツ語を使う機会がたくさんありました。

ヨルダン人の方に自国のご飯を作ってもらったり、夜にパーティーをしたり、語学学校の友だちと街の観光をしたり、文化を教えあつたりしたときに、ドイツ語でコミュニケーションをとりました。また、寮の隣にはドイツ人の家族が住んでおり、お子さんがいたので



秀明 (Shumei) で自然農法について説明を受ける

休日に遊んだり、お茶をご馳走になつたりしました。

このことは、もつとドイツ語を話せるようになりたいというモチベーションにもつながりましたし、ドイツ文化だけでなく、授業で自国のお祭りをプレゼンするなど、いろいろな国の文化にも触れられたよい体験でした。

環境問題をふたたび考える

環境問題とは一体どのようなものか、ということが私の中で改まりまし



ドイツで環境問題をリサーチした筆者

た。奨学金をいただく以前は、私にとって環境問題といえば四大公害、地球温暖化、ヒートアイランド現象……といった学校で習ったようなことでした。しかし、今回私がリサーチを行った自然農法家の「秀明 (Shumei)」やエネルギー施設、環境のためのベジタリアン、「FRIDAY FOR FUTURE (FFF)」でさまざまな方の話を聞くにつれて、私たちの生活の根本から改めて考え直すべきなのではないかと思えました。環境問題は、人によってそれぞれ捉え方も、環境のために取る行動も異なります。秀明では、人工肥料なしの自然農法を行っており、地域の人と農業を通じて交流する活動も行っています。これによって、ふだん口にしてる野菜がどれほど人の手がかかるか、農業を

体験が育てる
環境観

柳井千佳

法学部国際企業関係法学科3年
私立福岡大学附属大濠高校(福岡県)出身

使っているかを感じさせるという環境教育になつていくようです。

エネルギー施設に関しては、ドイツは日本と違って地方自治体がエネルギー施設を運営しています。したがって、住民はエネルギーを供給してもらう会社を選ぶことができ、施設は自分たちの会社を選んでもらうためにクリーンエネルギーの事業に取り組んでいます。

また、環境保護とベジタリアンにも関係があります。牛や豚は広大な土地と水を必要とすること、二酸化炭素の排出量が多いことから、環境によくありません。しかし、大量に生産され、捨てられているため、ベジタリアンの人々は初めから食べ物として選ばないという考えを持つていました。

FFFの活動は、グレタ・トゥンベ

りさんによって世界中に知れ渡りました。彼らは、資本主義では将来の生活が成り立たない、そのことを世界に広め、今の世代から変えていきたいという信念のもと、デモ活動を行ったり、政治家に環境政策について意見したりしています。このように、私たちの生活に関わる環境問題というものの幅広さがわかると思います。その幅広さを理解するためには、学ぶだけでなく体験するという環境教育が不可欠です。

私は、現代の文明をすべて捨てると言っているわけではなく、「持続可能な社会とは何か」を考え、自分たち一人ひとりがどんな小さなことでもいいから地球の未来というものを考え、実行することを心に留めるべきだと思っています。そのためには、環境問題とは何か、自分たちの自然のなかでの立ち位置はどこにあるのか、それを考える機会を持たせるために、環境教育が必要だと考えています。

平和と環境

アウシュビッツ強制収容所にも行き、平和と環境について考えました。日本語案内人の中谷剛さんのガイドでいろいろな施設を回り、ドイツ人がなぜユダヤ人に対する差別を許容したの

かという話のなかで、中谷さんの「人間の本质」についての話が最も印象的でした。それは、「近くの人を守るためなら遠くの人をないがしろにしてしまう」ということです。

私たちの社会が、グローバル化によって人の移動が増え、文化交流が増えればさまざまなリスクを負うこととなります。実際は、遠くの問題が巡り巡って自分の大切な人や自分自身を脅かすことを、私たちは認識すべきだと

思いました。環境問題も、遠い国の問題ではないことに気づきました。

終わりに

このたびの奨学金受給にあたってお力添えをしてくださったすべての方々、インタビューを受け入れてくださったすべての機関に対し、心より感謝を申し上げます。

初めはこの奨学金に応募するかどうか悩みましたが、今では留学を体験し

てよかったと心から思います。この記事でやる気応援奨学金を知った方、悩んでいる方、中央大学には相談できる方々がたくさんいます。ぜひチャレンジしてみてください。



語学学校の前でA2クラスの友人と

From the Faculty of Law



法学部だより



C plus 掲示板のリニューアル

法学部事務室
おのざわしょうご
小野沢 正悟

このたび、「法学部C plus 掲示板」がリニューアルされました。「法学部C plus 掲示板」とは、中央大学法学部生が学生生活を送るうえで必要な情報をまとめたWebサイトのことです。たとえば、学年暦や行事一覧、カリキュラム表、履修要項、授業時間割、履修登録の方法、成績表示の見方、卒業制度や進級について、よくある質問などの内容を掲載しています。また、私たち事務職員が法学部生へお知らせを配信するとき、ファイルのダウンロードをしてほしいときなどにも使用します。

このたびのリニューアルで、文字情報配信だけでなく動画配信も可能になり、さまざまなコ

ンテンツも追加されました。これにより、さまざまな情報をお知らせすることができるようになりました。

もはや掲示板というよりは、法学部生のためのWebサイトという風格になったため、現在、このサイト名を学生から募集しています。どんな名前になるか、職員はワクワク・ハラハラしながら日々を過ごしています。私たち担当者の目標は、学生からこの「法学部C plus 掲示板（仮）」を見ればなんでもわかるぞ！と言われるようになることです。それに向け日々さらなる改良をしていきます。よろしければ、保護者の皆さまもお時間のあるときに一度ご覧になってみてください。法学部生のタイムリーな情報にアクセスできます。

◎「法学部C plus 掲示板」は、文末のQRコードからアクセスするか、検索サイトなどで「法学部C plus 掲示板」で検索すると一番上に出てきます。

【参考】

中央大学法学部C plus掲示板(仮)
<https://sites.google.com/view/chuolaw>

